

令和元年度仁木町地域おこし協力隊活動報告書

氏名	大野 崇	活動年数	2年目
活動目標	<p>① 北海道におけるブドウ栽培の知識、技術の取得</p> <p>② 土地の取得</p> <p>③ ワインだけに限らず、仁木町内での課題を見つけ解決策を提案する。</p>		
活動内容	<p>活動目標①に対して：有機栽培またはそれに近い事をやっていきたいと考えていたため、仁木町内ではル・レーヴ・ワイナリー、自然農園にて研修を行いました。町外のワイナリーだと個人経営のワイナリーを中心に10数軒お邪魔させて頂き、栽培や醸造に関して作業をしながらお話を伺いました。</p> <div data-bbox="386 786 710 1214" data-label="Image"> </div> <p>一昨年経験していたフランスでのやり方と積雪のある北海道では作業の方法も大きく異なっていて、さらにワイナリー毎にも作業のやり方が違うので色々な角度から物事を見ることができました。</p> <p>自分自身がやる際には、これら学んだことを参考に自分に合うやり方を身につけていきたいと思っております。</p> <p>※上の写真は、リタファームにて委託醸造したワイン。</p> <p>※下の写真は、土地探しを非常に手伝って頂いた自然農園 上田さんの自社畑。</p> <div data-bbox="386 1350 729 1688" data-label="Image"> </div> <p>活動目標②に対して：農業委員会や町内の方々にご協力頂きながら、土地の候補地を確認しました。1年目での土地取得とはなりませんでしたが、自分がやりたい事をできる土地はどのような土地なのかを知る良い機会となりました。</p> <p>また売主さんにとっても大きな売り物になると思いますので、自分本位で動くことなく1歩ずつ進めていくことの大切さも理解することができました。</p> <p>引き続き、いろんな皆様にご協力を頂きながら土地の候補地を探していきたいと思っています。</p>		

	<p>活動目標③に対して：町外から来た立場として、小さくても良いので町の中の課題を1つでも見つけて解決しようと思っておりました。そんな中で、町内のワークショップに参加させて頂きました。そこでたくさんの町民の方とお話する機会があり、多くの方々の町の長所、短所を伺っていく中で、豊作のためトマトの廃棄ロスが多かった事を伺いました。(小規模農家1軒で1t以上)</p> <p>ただ畑に捨てるのではなく、何かしらの形で農家さんの収入に変えられないかを考え、セミドライトマトにして販売しました。元々東京で営業をやっていたので販路を持っていた事が大きかったのですが、販売開始から2時間弱で予定数量が完売となりました。</p> <p>今年の生育がどうなるかはわかりませんが、もし昨年と同じような状況であれば少しでも食品ロスをなくすため、仁木町のトマトの美味しさを町外の方々に知っていただけるように協力隊活動の合間ではありますが微力ながらお手伝い出来たらと思っています。</p> <div data-bbox="384 878 1118 1227"> </div> <p>※写真(左):さくらんぼフェスでのワインブースのお手伝い。 ※写真(右):試験販売したセミドライトマトです。(※協力隊の時間外でやってます。)</p>
自己評価	<p>●活動初年度からの自己評価及び進捗状況</p> <p>自分がやりたいと思っていた事が少し形に出来たのかなと思っています。</p> <p>自己評価としては100点満点中70点くらいです。</p>
抱負	<p>昨年よりもさらに町内の方々とのコミュニケーションをとることを大事にして、さらなるブドウ栽培の知識・技術取得を目指すと共に、仁木町の事を少しでも多くの町外の人に知ってもらえるような活動もしていきたいと思っています。</p>
その他	